

宮古

ワイドーぱり

「活力ある農業」の意味（ワイドー=がんばれ、ぱり=畑）

発行所

宮古農林水産振興センター農業改良普及課

〒906-0012 宮古島市平良字西里1125

TEL : 0980-72-3149

FAX : 0980-72-9751



宮古各地で畜産共進会開催！！



令和8年度6月期宮古地区子牛共進会

令和8年度6月15日にJAおきなわ宮古家畜市場で、地域の飼養管理技術の向上や改良の推進等を目的に宮古地区子牛共進会が開催され、第1～6類までの6部門に合計62頭が出品されました。

出品牛は全体的に発育良好で、体上線の強い牛が多く見られ、飼養管理技術の高さがうかがえました。また、昼食時には、モニタリングシステムメーカーより、参加農家に対し、牛体調モニタリングシステム「カプセルセンス」の紹介が行われました。審査の合間には、畜産技術員会による宮古総合実業高校生への牛の測定及び審査方法を解説する講座も行われ、生徒たちは熱心に聞き入り、積極的に質問する様子が見られ、今後の宮古地区の畜産振興への期待が高まる有意義な共進会となりました。



高校生への講座の様子



「カプセルセンス」紹介の様子



審査の様子

令和8年度多良間村畜産共進会

令和8年度7月27日にJAおきなわ多良間家畜市場で、多良間村畜産共進会が開催され、子牛の部1～6類に18頭、若雌第1類に3頭、2類に7頭の合計8部門に28頭が出品されました（昨年度35頭）。

今回は高等登録群への出品は無く、全部門において出品頭数が少なかったものの、出品牛は全体的に体積豊かな牛が多く見られました。また、参加農家は審査員による審査講評を熱心に聞き入っており、意欲の高さが感じられました。若雌1類、2類の各部門において上位に選ばれた牛の中から出品資格を満たす牛が、8月31日に開催される宮古地区畜産共進会に推薦されます。



審査の様子



表彰式の様子



各部門1位農家

宮古地区さとうきび糖業振興会 さとうきび生産性向上緊急支援事業 さとうきび夏植用堆肥購入補助

さとうきび農家の土づくりを応援するために、宮古地区さとうきび糖業振興会と宮古島市では、さとうきび新植夏植用の堆肥購入補助を実施中です。

◆畑に**堆肥を入れる場合は
植付の1か月前までに**すき込みましょう！

堆肥投入後にすぐ植付をすると、窒素不足などで生育不良になることがあります。

事業内容

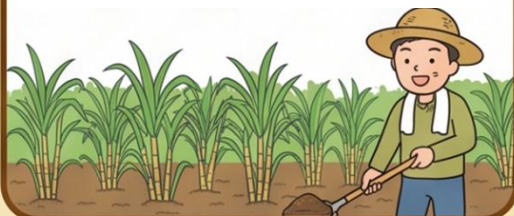
堆肥の利用を推進した土づくりを支援しています。

- 補助対象：堆肥購入費、運搬費・散布費
- 対象堆肥：市認定堆肥（市内4事業者）
- 申込期限：令和8年10月30日まで



補助対象者

宮古島市内さとうきび農家



補助内容(ここがポイント！)

宮古島市「令和8年有機質肥料購入補助事業」と併用可能

市の助成分（1トン3,000円）差引後の金額から、糖業振興会が**2/3以内**を補助！

1 堆肥の購入費 + 2 運搬・配送費 + 3 散布の作業費

補助の申請方法

①購入・作業依頼



農家の皆様は指定された堆肥事業者で堆肥散布の注文をします

②代金お支払い



農家の皆様が一度全額支払います。事業者から必ず領収書を受け取りましょう。

③ダブル申請



「宮古島市」と「宮古地区糖業振興会」の双方へ領収書などの必要書類を添えて申請

④補助金の振込



両事務局での審査・確認完了後、指定口座へ振り込まれます

【事業担当】 さとうきび糖業振興会（JAおきなわ宮古地区本部さとうきび対策室）TEL 0980-72-1341
【土づくりの相談】 農業改良普及課 TEL 0980-72-3149

第19回 沖縄県マンゴーコンテスト

7月9日、沖縄県中央卸売市場において、第19回沖縄県マンゴーコンテスト審査会（主催：沖縄県果樹フェスティバル実行委員会）が行われました。

出品総数は46点（北部6点、中部10点、南部20点、宮古8点、八重山2点）。宮古地区からは**ティダマンゴー宮古島農園の平良潤一さんが優良賞（沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞）を受賞**いたしました。

宮古地区からは6年ぶりの受賞であり、台風9号の影響を受けながらの出品・受賞となりました。

平良さんは同コンテストで過去に優秀賞を3度受賞しております。

今後も産地リーダーとしての活躍を期待しています。

おめでとうございます！



受賞したマンゴー

マンゴー収穫後の管理ポイント

収穫も終わりに一息つきたくなる時期ですが、これからが来年の開花・収穫のために大事な時期です。以下のポイントを押さえて栽培管理をしっかり行いましょう！

①お礼肥とたっぷりのかん水で樹勢回復を図りましょう

樹勢を早く回復させ、枝の生育を促すためには肥料・水が必要です。収穫が8割終了または収穫終了後早いうちに施肥を行い、こまめにかん水を行いましょう。

◎樹勢の弱い樹や着果が多かった樹は、液肥の葉面散布を組み合わせるのも良いでしょう。

◎樹勢の強い樹や着果の少なかった樹では、肥料の量を減らして施肥しましょう。

②樹形は低く、せん定量は樹全体の2割程度に抑える！

枝数が多すぎて混み合っていると風通しが悪くなり、病虫害が発生しやすくなります。樹形の改造は誘引→せん定の順で行います。ただし、大量のせん定や遅い時期でのせん定は翌年の開花に影響するので、注意が必要です。**せん定量は樹全体の2割程度にとどめましょう。**



立ち枝や下向きの枝が多い



枝の誘引・吊り上げを行う

- ※誘引は日光がまんべんなく当たるよう枝同士が重ならないよう意識
- ※立ち枝は太くなりやすいので早めに誘引する
- ※樹体に影響が少ない間引きせん定をする（切り戻しせん定はしない）
- ※枯れ枝や病気の枝、樹形を乱す邪魔な枝はせん定し、外に持ち出す

③有機質資材（敷草・ココピートなど）を施用しましょう

有機質資材は土壌表面を柔らかくし、細根の発生を促進します。土壌の表面に根が増えると、冷気に関する感度が良くなるほか、肥料を吸収しやすくなります。



ココピート



敷草



土壌表面の細根

夏植えのシーズンが始まりました！
植付けから培土までの基本的な手順と対策をしっかりと実践し、
健全な育成環境を作りましょう。

01 調苗・事前処理

- 良質な苗を選ぶ
若くて芽が痛んでいないものを2節苗に調苗。
- 水や石灰水への浸漬処理
一晩水に浸して休眠を解除し、発芽を促進。
- 病害予防の徹底
黒穂病が発生する地域では、ベンレートT水和剤20に浸漬。

02 確実な植付け作業

- 畦幅の適正設定
手刈り栽培は120cm～、機械収穫は140cm～。
- 十分な苗数の確保
2,500～2,800本/10aを目安に、欠株を防ぐため多めに投入。
- 害虫防除と覆土管理
プリンスベイト施用。
覆土は2～3cmで適度に鎮圧。

03 水分・雑草の管理

- 初期かん水
発芽まで2～3日に一度かん水。
- 土壌処理剤の散布
植付け後1週間以内にカーメックスを散布し、雑草の発芽を抑制。

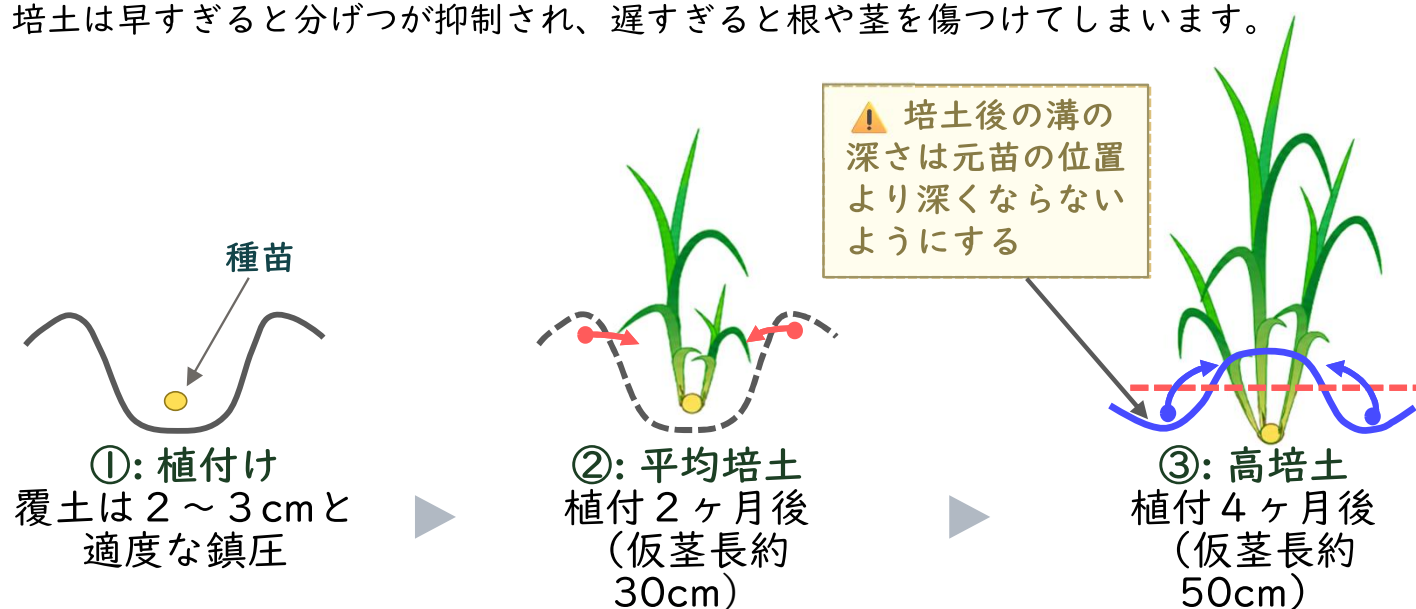
※土壌処理剤の効果
雑草の発芽を抑え、
分げつ抑制を防ぐ。

04 腐れ（黒腐病）の徹底対策

- 迅速な発芽の促進
発芽期間をできるだけ短くし、病害のリスクを下げる（事前浸漬が有効）。
- 薬剤散布による防除
ベンレートT水和剤20の1000倍液を苗に散布するのが効果的です。
- 排水環境の整備
排水不良圃場は罹患リスクが高まるため、事前に深耕して水はけを良くします。

05 適切な時期に培土

培土は早すぎると分げつが抑制され、遅すぎると根や茎を傷つけてしまいます。



新規就農者等の支援活動について

農業改良普及課では、就農を希望する方や新規就農者を対象に、関係機関と連携した支援を行っています。

1 新規就農サポート講座

就農を志す方を支援するため、就農3年未満の新規就農者、青年農業者、就農希望者等を対象に、6月から11月の期間、月1回(計6回)の講座を開催しています。関係機関の業務、農家支援対策・制度、基本的な栽培技術など、幅広い内容となっており、途中からの受講も可能です。関心のある方はお問い合わせ下さい。



R8年度 第1回講座 (左:宮古、右:多良間)

2 就農ステップアップ講座

早期の経営確立を支援する目的で、新規就農支援事業活用者を対象に講座を開催しています。内容は、品目別の実践的な栽培(飼養)技術や施設管理、病虫害防除、農業経営など、座学や現地検討会の形で実施しています。

講師は地域農業のリーダーである指導農業士等が務め、先輩農家の経験を交えた指導・助言を行っています。農家どうしが知り合える良き機会ともなっています。



R7年度 マンゴー現地検討会

3 新規就農に向けた長期農家研修

地域農業と次世代を担う農業者として新規就農する志を持ち且つ農地の権利取得等に目処がつき就農が確実と見込まれる方で、実践的農家研修を希望する方に対し、指導農業士等のもとでの長期研修を支援しています。

研修は、国の新規就農者育成総合対策「就農準備資金」や(公財)沖縄県農業振興公社の新規就農促進事業を活用して実施します。④各事業には受入要件があります。

4 就農サポートチームによる巡回指導

国の農業次世代人材投資事業「経営開始型」、新規就農者育成総合対策「経営開始資金」等の交付対象者に対して、サポートチーム(市、村、JA、県家畜保健衛生課・普及課、農業士等で編成)による巡回指導を行っています。内容としては、圃場巡回による就農状況の確認(就農計画に則した農業所得を上げているか、計画達成に向けた農業活動を行っているか等)や抱えている課題の共有化、サポートチーム員からの指導・助言等、早期の経営安定に向けた支援となっています。



R7年度 巡回指導

宮古地区就農青年クラブ連絡協議会の紹介

本協議会は、青年農業者の生産技術向上と仲間づくりを目的に、現在13名の会員が加入し、活動しています。（女性会員や多良間村会員もいます）

農業のことを気軽に相談できる仲間づくりや、研修を通して島内外の青年農業者との交流に取り組んでいます。

令和8年度 役員

役職	氏名	地区	主な品目
会長	砂川 寛希	平良	ミニトマト、ナス、ニンジン等
副会長	近藤 慎介	平良	マンゴー
会計	新里 拓也	上野	とうがん

農業をしている方や就農希望の
20～40代の皆さん
一緒に活動しませんか！
Instagramでも活動紹介しています。



MIYAKO_4HCLUB



活動の様子



小学校で野菜の
植付・収穫支援



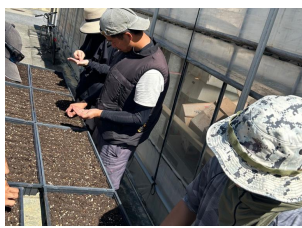
八重山青年クラブとの交流
(R7年は西表島にて開催)



沖縄県青年農業者会議
(受賞式)



堆肥づくり研修



苗づくり研修



野菜即売会



農業生産に係る
防犯パトロール

今後の研修会の予定

（現地検討会、新規就農者交流会 等）

- 青年クラブ主催の研修会は、クラブ員以外の青年農業者や就農希望者も参加できます♪
- 興味のある方は、お気軽に普及課またはクラブ員にお声かけください！